

宮城県感染症発生動向調査情報(第39週)

宮城県【平成26年10月09日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2014.9.22 ~ 9.28 ・ 第39週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							宮 城 県 (含む仙台市)							
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第36週	第37週	第38週	第39週	
水痘	5 1.00	2 0.20			1 0.33	4 0.80		20 0.77	32 0.55	1,514	○→	○→	○→	○	
流行性耳下腺炎		2 0.20		1 0.50	2 0.67			2 0.08	7 0.12	503	→	→	→		
百日咳											→	→	→		
感染性胃腸炎	18 3.60	16 1.60	6 1.20	12 6.00	8 2.67	4 0.80		51 1.96	115 1.98	14,855	◎→	◎→	◎→	◎	
手足口病			1 0.20					5 0.19	6 0.10	294	→	→	○→	レ	
伝染性紅斑	7 1.40	3 0.30	2 0.40	3 1.50	5 1.67	8 1.60		21 0.81	49 0.84	2,013	○→	○→	レ→	○	
突発性発しん	3 0.60	1 0.10	5 1.00	1 0.50	2 0.67	5 1.00		23 0.88	40 0.69	1,526	○→	○→	○→	○	
ヘルパンギーナ	7 1.40	22 2.20	6 1.20	1 0.50	6 2.00	10 2.00	3 1.50	43 1.65	98 1.69	2,250	◎→	◎→	◎→	◎	
インフルエンザ											→	→	→		
咽頭結膜熱		1 0.10						3 0.12	4 0.07	540	→	→	→		
流行性角結膜炎		1 0.33						1 0.17	2 0.17	124	→	→	→		
急性出血性結膜炎											→	→	→		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1 0.20	10 1.00	2 0.40	1 0.50	1 0.33	19 3.80		49 1.88	83 1.43	4,464	◎→	◎→	◎→	◎	
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→		
無菌性髄膜炎											→	→	→		
マイコプラズマ肺炎				1 1.00			2 2.00	3 0.60	6 0.50	333	→	→	→		
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→		
RSウイルス感染症	2 0.40	1 0.10				1 0.20		13 0.50	17 0.29	448	→	→	→		
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		2	2			2	4	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向						
	川崎病								【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/						
	不明発疹症							6							
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※								52						

今週の全数報告疾病			
1類感染症: 報告なし	※男児、女兒は6歳未満		
2類感染症: 結核	塩釜管内	男性1名(第39週)、女性1名	
	大崎管内	男性1名	
	石巻管内	女性1名(第39週)	
	仙台管内	男性1名	
3類感染症: 報告なし			
4類感染症: レジオネラ症	石巻管内	女性1名	
5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌感染症	仙台管内	男性1名	
	アムール赤痢	塩釜管内	男性1名
	梅毒	仙台管内	男性1名
今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例			
今週の感染症のコメント			
— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —			
【伝染性紅斑】 登米、石巻管内で警報継続中。			
【ヘルパンギーナ】 塩釜管内で警報継続中。			
【病原体検出情報】 ～宮城県保健環境センター～ ヘルパンギーナ患者より 大崎管内 第38週採取分 エンテロウイルス(型不明) 2件 第39週採取分 コクサッキーウイルス(A10型) 1件 感染性胃腸炎患者より 塩釜管内 第38週採取分 ヒトパレコウイルス 1件			
～仙台医療センターウイルスセンター～			
	第38週採取分 (9.15～9.21)	第39週採取分 (9.22～9.28)	第40週採取分 (9.29～10.5)
	パラインフルエンザウイルス1型	3件	1件
	パラインフルエンザウイルス2型	2件	2件
	RSウイルス	2件	2件
	エンテロウイルス	1件	0件
	ライウイルス	0件	0件

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第36週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.97)、高知県(0.19)、島根県(0.14)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は1例と前週と比較して減少した。都道府県別では徳島県から報告があった。**RSウイルス感染症:** 報告数は2,894例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約77%を占めている。**咽頭結膜熱:** 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は徳島県(1.17)、群馬県(1.07)、三重県(0.76)、沖縄県(0.76)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:** 定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は島根県(2.45)、鳥取県(2.26)、山口県(1.75)である。**感染性胃腸炎:** 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(6.44)、徳島県(4.91)、宮崎県(4.86)である。**水痘:** 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は佐賀県(1.22)、宮崎県(1.17)、大分県(1.06)である。**手足口病:** 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は石川県(2.69)、山口県(2.21)、愛媛県(2.08)である。**百日咳:** 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は福島県(0.07)、広島県(0.04)、徳島県(0.04)、福岡県(0.04)である。**ヘルパンギーナ:** 定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は福島県(3.58)、北海道(3.01)、宮城県(2.76)である。**マイコプラズマ肺炎:** 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は秋田県(1.00)、宮城県(0.92)、北海道(0.70)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る):** 定点当たり報告数は増加した。7府県から8例報告があり、年齢別では0歳(3例)、1～4歳(3例)、5～9歳(1例)、70歳以上(1例)であった。
* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字: 定点当たり報告数